

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。

縄跳びチャレンジ月間どうですか？順調に記録が伸びていますか？昨日は、運動委員会を中心に体育館で『なわとびのコツ教えます』って5・6年生が見本を見せてくれましたね。『先生、前跳びを教わりたいの』って目標をしっかりともらった1年生がいました。6年生のところまで案内すると、丁寧に教えてもらって嬉しそうでした。また、『二重跳びを教わりに来ました』と勇んでいたのは2年生。跳び方のコツを説明してもらって、いざ練習!!何回でも挑戦してちょっとずつ跳べるようになってきましたよ!!すごいね!!最後に1年生に話を聞いてみると『すっごく楽しかった!!明日も絶対来る!!』『新しいことができるようになって嬉しかった。あや跳びが跳べるようになった!!』と満面の笑みで答えてくれました。頑張ったことでできるようになると、こんなにも嬉しいんだ!!と心が伝わってきましたよ。

さて、睦っ子タイムの長縄はどうでしょうか？『先生、私たちが1位ですよ!!頑張ります!!長縄のコツを教えてください!!』と5年生。みんなの心が一つになるには何がつかないでくれるのかな？下校の時には3年生が「今日は、みんなで声を出して、誰かが失敗しても声をかけて挑戦して、全員が失敗せずに跳べたんです!!」って嬉しそうに話してくれました。隣のクラスからは「100回連続して初めて跳べました」と聞こえてきました。この小さな感動を重ねて重ねていくと、きっと大きな感動が待っていますよ!!何より、できるようになったことを心から喜んで報告してくれることが何より嬉しいことです。みんなの頑張りを間近に見られて、成長を感じられることがこんなにも幸せなことなんだなあなんてしみじみ感じてしまいました。

そして、家に帰ると、高校3年生の娘が小学校6年生の息子の縄跳びに付き合っていました。軽快な音楽をかけながら継続して跳び続けること・・・5分。運動が苦手な息子は、何度も引っぱりながらも5分間頑張っていたようです。一人では難しいことも一緒に取り組む仲間がいるから頑張れる。皆さんもそうではないですか？親としては失敗しても頑張っていることが伝わってくると嬉しいものです。みんなのお家の方もそんな想いで皆さんの話を聞いているのではないのでしょうか？「今日は〇〇を頑張ったよ。もう少しでできるようになりそうなんだ!」なんて、お家に帰ったらお話ししてみてくださいいね。

縄跳を頑張っているみなさんに、もうひとつ。この冬休みに、高田先生に勧められたサッカーアニメ『ブルーロック』を観てみました。そしたら、なんと先生が読んでいた『学び方を学ぶ授業』という本の中にコラムとして紹介されていました。ちょっと読んでみますね。

このアニメは日本がW杯で勝つために、最強ストライカーの育成を目的に選抜された高校生300人が、「ブルーロック」という建物に集められて、残りの一人になるまで戦うという漫画です。ここで集められた高校生たちが「どうしたら生き残れるのか？」と葛藤し、試行錯誤する姿は、まさに学習者にも当てはまると感じました。①**まずは、自分自身の武器(強み)を見極めて、思考し続けよ** ②**その武器(強み)の生かし方を模索し続けよ** ③**互いの武器(強み)を掛け合わせて、チームで勝ち上げ**ドリブルが得意な子もいれば、パスが得意な子もいるし、足が速い子もいて様々です。それぞれの武器(強み)を掛け合わせて、チームの勝利という目的に向かう場面が印象的です。学校での学習を、自分自身の強みに気付く時間と捉えるのは、どうでしょうか？「私は書くことが得意かもしれない」「僕は人前で発表するのが全然嫌じゃないかもしれない」と実感できる場面が学校にはたくさん存在します。『私は図書館の資料を知っているから探してくるね。』『ありがとう。その間に、まとめ用の紙のレイアウトを考えておくね。』『じゃあ自分は、プレゼンの構成を考えるね。』と、互いの強みを生かし合う学習会話がたくさん溢れることを目指しています。

と書かれていました。クラスのみならず一人一人の強みは何でしょうか？長縄に限らず、まとめの学習をする今、普段の学習でも「あの子は社会が得意だから聞きに行ってみよう」「あの子は算数が得意だから解説してもらおう。その代わりに、体育は僕が得意だからパスのコツを教えてあげよう」なんて、『個の武器を磨き、互いの武器を生かす』そんな関係性が増えていくといいですね。そして、積み残しのないように、まとめの学習に取り組み、お互いに高め合える仲間になっていってくださいね。

それでは、また来週。See you next week!Have a nice weekend!!